※ 下線部分が追加･修正箇所

聖籠町生涯活躍のまち構想検討会 報告書骨子案

資料1

【構想の背景～はじめに～】

○ 超高齢化社会では、高齢期をより前向きに捉えることができる新たな地域社会が必要。
○ 新たな地域社会は若者・ファミリー層が活力をもって生活できる場であるべき。
○ 新たな地域社会の実現には住民がともに暮らしをつくり、高め合う「地域力」が不可欠。
○ 生まれてから亡くなるまですべてのライフステージで住みよいまちを創る。

【第１　現状と課題】

○ 超高齢化が今後進んでいく見通し～支え手と受け手のバランスの変化～
○ 個人の生活スタイルや職業選択の変化⇒少子化・核家族化、高齢者世帯の増加
○ 介護認定率は75歳から上昇。2025年以降は団塊世代が75歳以上に突入。
○ 産業が集積する新潟東港工業地帯、新潟市中心地まで通勤・通学圏内という好条件。
○ 新潟聖籠病院が平成28年９月に開業し、町内の医療体制は充実してきている。

【第２　基本的方向】

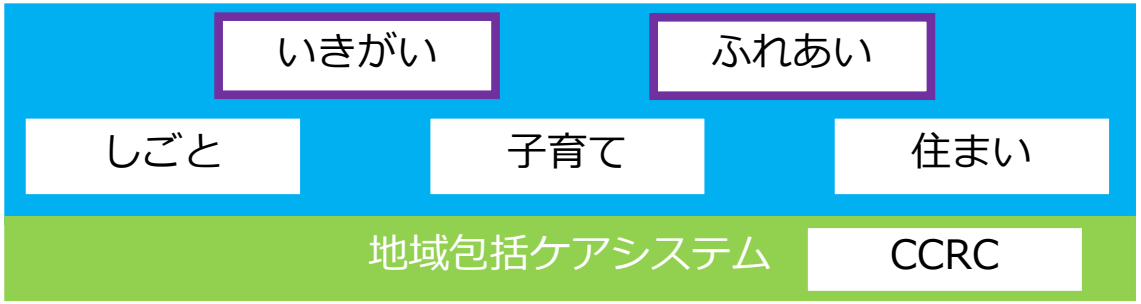
［生涯活躍のまちの理念］

超高齢化社会において、若者、ファミリー層、高齢者が多世代共生し、それぞれが各分野の担い手として活躍でき、安心して暮らせる生活環境があり、自分らしく歳を重ねることができるまち。

［構想の推進方針］

- 若者、ファミリー層の定住を促進する
- 自分らしく歳を重ねていける安心を創る
- 暮らしをともに創り、高め合う

【第３　講ずべき施策】



【第４　構想の推進に向けて】

○ 超高齢化社会における町民と行政の協働
○ 構想の推進に関する情報の共有